

中学生がアメリカ、シリコンバレーを訪問して感じたこと

画像電子学会DSG研究会 第9回ワークショップ 講演予稿原稿
2018/11/18

三橋優希 (ECoder's) yuki.mihashi384@gmail.com

使用したスライド: <https://goo.gl/nsmeJU>

この資料の最新版 (最新版の閲覧を推奨します。): <https://goo.gl/CN6ER9>

私について

2003年生まれ、中学3年生。

中学2年生で小中高生向けのプログラミングサークル「ECoder's」を立ち上げ、現在も月に1回程度、累計15回以上開催している。2018年にアイルランドで開催されたCoolestProjects 2018 Games + WebGames 部門で最優秀賞受賞。未踏ジュニアスーパークリエイター、2018年度SecHack365 採択者。小さい頃から絵を描くのが大好きで、将来はUI/UXデザイナーになることを目指して進む道を模索中。現在はRuby on Railsでモバイル向け家事の情報共有サービスを開発中。

アメリカ旅行で知ったこと、考えたこと

9月16日～10月3日にかけて、カリフォルニア州のロサンゼルスからサンディエゴ、ヨセミテ国立公園、サンノゼまで、様々な地域を回ってきました。

9月28日にGoogle社、Facebook社のオフィス内見学に行き、現地の社員の方に会社内のシステムなどについて実際に聞くことができました。

Facebook社、Google社の共通点として、自由な仕事スタイルと充実した職場環境というものがあります。働く場所が選べたり、食事・軽食無料提供や、オフィス内のトレーニングジム、ゲームセンターなどがありました。自分が想像していた以上にそれぞれに合わせた働き方ができ、「思っていたよりもっと自由に働いて良いんだ」と考えました。

同時に、「日本でも同じ働き方ができるのでは」と考え調べたところ、Googleの日本オフィスなどが同じような取り組みをしていました。アメリカで始まった会社の仕組みだとしても、日本で実現可能であることがわかりました。では、アメリカと日本との違いはどこにあるのか？「多様な人々がいる」という点にあると私は考えます。

一般にアメリカは多文化社会といわれます。様々な人種で日本の2.5倍以上の人々がいます。人の数だけ考え・価値観があります。つまり、アメリカでは多文化で色々な考えを持った人々と関わるので、色々な分野において、様々な視点から自分の取り組んでいることなどについて知ることができます。様々な視点から物事を見ることで、新しいアイ

デアが生まれるのではないだろうかと考えました。このように、アメリカは先進的な働き方や取り組みがされていて、いろいろな分野において**学ぶのに向いている**と考えました。

しかし、アメリカは自由で多文化である一方、貧富格差が大きく、治安の良い場所と悪い場所の差が激しいと感じました。地元のスーパーマーケットに何回か立ち寄った際、客層、道路の衛生状態や陳列されている商品の管理状態を見て、**治安の悪いところと良いところの差**を感じました。

良い意味でも悪い意味でも、**アメリカという国は日本に比べ自由**でした。

私は2019年3月にアメリカテキサス州で開催されるSXSWというイベントに参加する予定です。そこでは音楽、映画、テクノロジー、スタートアップ企業、マーケティング、フード、スポーツなどの多岐にわたる分野について、最新トレンドが紹介される予定です。そこで、技術的な知識や新しいアイデアの種を掴んできたいと考えています。

使用したスライド

<https://goo.gl/nsmeJU>



この資料の最新版

<https://goo.gl/CN6ER9>

